

平成21年度 一般会計予算

対前年度比8.4%増

67億2,563万円

平成21年3月11日から開会した、第1回熊野町議会定例会に平成21年度の予算案が提出されました。審査に当たっては、議員全員で構成する「予算特別委員会」を設置し、町当局から予算の概要や各事業に関する説明を受け、様々な質疑が交わされました。本会議では、委員長報告のとおり、全ての各予算案を原案どおり可決しました。

各部門別の主要事業（抜粋）

建設

- 北部農道の改良（事業費 6,432 万 4 千円）
→ 農業運搬の効率向上と交通の安全確保のため、危険箇所の改良を行う



▲昨年度実施した箇所

総務

- 定住交流促進事業（事業費 1,138 万円）
→ 地域資源を活用し、定住交流人口の拡大に取り組む



▲町内循環シャトルバス(3年間の試験運行)を開始

教育

- 冒険公園を整備（事業費 1,737 万 8 千円）
→ 三世代の憩いの場として、再整備する



▲現在の状況

民生

- 新たに福祉事務所を設置（事業費 3 億 4,800 万 8 千円）
→ 生活保護や児童扶養手当などの事務を、町内で総合的に実施



▲役場南館1階に設置

平成21年度 会計別予算額

区分	平成21年度	平成20年度	増減額	増減率
一般会計	67億2,563万円	62億459万円	5億2,104万円	8.4%
特別会計				
国民健康保険事業	31億1,644万円	31億9,890万円	△8,246万円	△2.6%
老人保健医療	306万円	1億9,365万円	△1億9,059万円	△98.4%
公共下水道事業	13億1,033万円	12億8,568万円	2,465万円	1.9%
後期高齢者医療	3億7,265万円	3億6,057万円	1,208万円	3.3%
介護保険	16億6,762万円	15億8,099万円	8,663万円	5.5%
上水道事業会計	7億3,239万円	6億2,557万円	1億682万円	17.1%

※上水道事業会計の予算額は、収益的支出と資本的支出の合計額。

※老人保健医療特別会計は、平成20年度に後期高齢者医療制度へ移行し、制度自体は平成20年3月末で終了しています。しかし、負担区分の誤りなどにより、今後も修正された診療報酬の再請求分への対応が必要となるため、平成22年度まで継続されます。

平成21年度予算審議内容（抜粋）

総務関係

Q 定住交流促進事業の内容は？

A 町内の求職情報を提供する熊野町就業促進センターを商工会に設置。また筆の里工房の来館者を中心市街地に誘導するシャトルバスの運行事業などである。

民生関係

Q 福山最終処分場運搬委託料について。

A 従前の五日市処分場が満杯状態となったため、他の施設を検討した結果、安価な福山処分場を選定した。ただし、出島地区の処分場ができるまでの暫定的な措置。

建設関係

Q 森づくり事業の内容は？

A 千ヶ塚林道周辺の比較的大きな枯れ木、倒木などを取り除く予定。今後はボランティアの力も活用していきたい。

教育関係

Q 小・中学校の大規模・耐震工事にかかるチェック体制はどうか？

A 工事管理を委託している建築設計事務所と、町の職員による工事管理を行い、最低でも週に1度は現場を訪れ確認した。